

診療機能の制限の一部緩和について

当院では、7月に入ってからからの感染急拡大に対応するため、8月11日(水曜日)から診療機能を3割程度縮小してきたところですが、8月下旬以降、県内の感染状況はやや落ち着きを取り戻しつつあります。

このため、9月7日(火曜日)より、診療機能の制限を一部緩和いたします。

この間、当院の厳しい医療提供体制にご理解いただいたことに感謝申し上げます。

なお、今後の感染状況や医療のひっ迫状況によっては、再び診療機能の制限を強化せざるを得ないことも考えられますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

2021年9月6日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

新型コロナウイルス感染者の発生について（第2報）

9月2日(木曜日)に当院の職員1名が感染した件に関し、念のため、職員と接触のあった患者様及び当院職員のPCR検査を行い、全員の陰性を確認しましたのでご報告いたします。

なお、病院は通常通り業務を行っております。

皆様にはご心配をお掛けしましたが、今後も新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら、基幹病院として診療を継続してまいりますので、よろしく申し上げます。

2021年9月6日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

新型コロナウイルス感染者の発生について（第1報）

9月2日（木曜日）に当院の職員が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

感染経路は現在調査中です。

調査によると濃厚接触者はありませんが、念のため、少しでも当該職員と接触のあった職員、患者について、幅広くPCR検査を実施しているところであり、現時点で検査が完了した全員の陰性を確認しております。

病院の業務は通常通り行っておりますが、今後、状況に変化がありましたらご報告させていただきます。

県民の皆様には、大変なご心配をおかけしますが、改めて、院内の感染対策や職員の感染回避行動の徹底により、診療機能の維持に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

2021年9月3日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

新型コロナウイルス感染急拡大に伴う診療機能の3割削減について

本県では、7月前半頃まで感染状況が落ち着いておりましたが、強い感染力を持つデルタ株がこれまでにない勢いの感染急拡大をもたらし、松山圏域、東予圏域を中心に連日多くの感染者が発生しており、既に「第5波に突入」した段階です。

当院でも、感染者の入院患者の急増によって既に医療体制が再び、これまでにない厳しい状況に置かれており、一般診療から新型コロナウイルス感染症対応へ、多くの医療資源を振り向ける必要があることから、8月11日(水曜日)から再び、診療機能を3割程度、縮小させていただいております。

県民の皆様には、大変なご不便をおかけしますが、どうかご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年8月12日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

新型コロナウイルス感染者の発生について（第2報）

7月12日(月曜日)に当院の職員1名が感染した件に関し、念のため、職員と接触のあった患者様及び当院職員等のPCR検査を行い、全員の陰性を確認しましたのでご報告いたします。

なお、病院は通常通り業務を行っております。

皆様にはご心配をお掛けしましたが、今後も新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら、今後も基幹病院として診療を継続してまいりますので、よろしく申し上げます。

2021年7月14日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

新型コロナウイルス感染者の発生について（第1報）

7月12日（月曜日）に当院の職員が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

現時点で感染経路は特定できておりません。

調査によると濃厚接触者はありませんが、念のため、当該職員と接触のあった職員、患者等について、幅広くPCR検査を実施しているところです。

病院の業務は通常通り行っておりますが、今後、状況に変化がありましたらご報告させていただきます。

県民の皆様には、大変なご心配をおかけしますが、改めて、院内の感染対策や職員の感染回避行動の徹底により、診療機能の維持に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

2021年7月13日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

診療機能の制限の解除について

当院では、3月下旬からの感染者及び入院患者数の急増により、4月以降、診療機能を制限してきたところですが、6月以降の県内の感染状況は落ち着いた状態を維持しており、当院への医療負担も軽減しております。

このことから、7月5日（月曜日）より、診療機能や運用病床の制限を解除し、通常の体制に戻しております。この間、当院の厳しい医療体制にご理解いただいたことに深く感謝申し上げます。

一方で、東京都など大都市圏では、デルタ株など変異株による感染が拡大傾向にあり、当県への波及も懸念されるところです。

今後の感染状況や医療の逼迫状況によっては、再び診療機能を制限せざるを得ないことも考えられますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

2021年7月9日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

職員の新型コロナウイルス感染について

5月18日(火曜日)に、当院の職員(医療従事者)1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

この職員は、5月4日に陽性が判明した事例の濃厚接触者と認定され、5月5日から自宅待機しております。5月6日にPCR検査で陰性を確認しましたが、昨日、再検査を行って陽性が確認されたものです。

なお、5月1日以降は出勤していないことから、院内に接触者はおらず、診療業務への影響はございません。

当院では、3次救急、周産期、小児医療を維持しつつ新型コロナウイルス感染症対応をするために、一般の診療機能を縮小しておりますが、スタッフ一丸となって診療に懸命に取り組んでおります。どうか、あたたかい気持ちで応援していただければと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2021年5月19日
愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

職員の新型コロナウイルス感染について

4月23日(金曜日)に、当院の職員1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

現時点では感染経路は特定できておりませんが、病棟に勤務する職員であり、院内での可能性は低いものと考えております。当該職員は、一般患者と直接接する業務に従事する職員ではないほか、院内スタッフとの濃厚接触もありませんでした。

現時点では、院内に濃厚接触者はいないと判断しておりますが、しかしながら、念のため直ちに、関連スタッフのPCR検査を実施し、全員陰性であることを確認しました。

以上により、院内への感染の拡がりは極めて低いと判断し、今後も通常診療を行う予定です。

今後、新たな状況の変化がありましたら、御報告させていただきます。

当院では、3次救急、周産期、小児医療を維持しつつ新型コロナ感染症対応をするために、一般の診療機能を縮小しておりますが、スタッフ一丸となって診療に懸命に取り組んでおります。どうか、あたたかい気持ちで応援していただければと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2021年4月24日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

新型コロナウイルス感染拡大に伴う診療機能の3割削減について

現在、愛媛県内の新型コロナウイルス感染症は第4波に入ったと思われ、短期間で患者さんが急増しております。新型コロナウイルス感染症対応は通常の治療に比べ、多くの人員を必要とし、さらに、重症化し集中治療室で治療を要する患者さんも増えております。そのため、当院ではやむを得ず診療機能を3割程度落とし、人的資源や集中治療室など院内設備をコロナ対応に移し、懸命に治療に当たっております。

県民の皆様には、予定手術や検査の延期など、多大なご不便をおかけしております。患者発生状況を見つつ、なるべく早く診療機能を戻したいと考えておりますが、今後の状況次第ではより厳しい診療制限が必要となる可能性もあります。どうか、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

また、皆様には「感染しない、させない行動の徹底」が何より医療者にとっての応援となりますので合わせてご協力をお願い申し上げます。

2021年4月19日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

新型コロナウイルス感染拡大に伴う診療機能の縮小について

新型コロナウイルス感染拡大に伴う診療機能の縮小について 全国的に新型コロナウイルス感染者が増加している中、本県におきましても、3月下旬 から、松山医療圏を中心に繁華街クラスターが発生するなど、新型コロナウイルス感染者が急激に増加して「第4波に入った」状況であり、感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症の対応を優先すべき状況となっております。

このことにより、医療及び人的資源をコロナ対応に振り向けるため、当院の診療機能を一部縮小させていただきます。

県民の皆様には、大変なご不便をおかけしますが、どうかご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年4月8日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

新型コロナウイルス感染者の発生について（第2報）

1月25日に当院の職員1名が感染した件に関し、念のため、職員と接触のあった患者様及び当院職員のPCR検査を行い、全員の陰性を確認しましたのでご報告いたします。

皆様にはご心配をお掛けしましたが、今後も新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら、基幹病院として診療を継続してまいりますので、よろしくお願い致します。

2021年2月1日
愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

新型コロナウイルス感染者の発生について（第1報）

1月25日に当院の職員（医師）が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

現時点で感染経路は特定できておりませんが、当該職員が診察の際に感染した可能性があると考えております。

感染判明後、直ちに実施した関連スタッフのPCR検査は陰性であることを確認しました。また、感染対策をしっかりとっており、患者さんや他部署への感染拡大の可能性は極めて低いと考えておりますが、念のため、今回の職員と接触のあった外来患者等には、当院からご連絡の上、院内でPCR検査を実施することとしております。

また、現時点では、一般診療や手術、検査、救急診療などは通常どおり行うこととしておりますが、今後の感染状況によりましては、一部の診療機能を制限する可能性がございます。ご不便をおかけすることになりますが、ご理解、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

県民の皆様には、大変なご心配をおかけしますが、十分に検証を行い、診療機能の維持に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

2021年1月26日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

新型コロナウイルス感染拡大に伴う診療機能の縮小について

全国的に新型コロナウイルス感染者が増加している中、本県、特に松山医療圏におきましても、11月に入ってから感染者が急増しており、感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症の対応を優先すべき状況となっております。

このことにより、診療機能を一部縮小させていただきます。

県民の皆様には、大変なご不便をおかけしますが、どうかご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年11月20日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大している中、2人目となる、当院の感染症病棟で患者さんの治療に従事していた看護師の感染が判明しました。

4月に発生した看護師への院内感染を受け、診療区画や業務手順を見直し、院内感染防止に取り組んでいたところの感染であり、ご心配をおかけすることとなり、大変申し訳なく思っております。

感染判明後、直ちに実施した関連スタッフのPCR検査結果は全員陰性であり、患者さんや他部署への感染拡大の可能性は極めて低いと考えております。

当院は感染症指定医療機関として、重症患者や対応のむずかしい患者さんへの治療も行う責務があり、今回の事案を受けて、さらに感染防止対策を見直すとともに、これまで以上に感染防止対策を徹底することで、患者さんや職員への感染を防止していきたいと思っております。

また、現時点では一般診療や手術、検査、救急診療などは通常どおり行う予定ですが、今後の感染状況によりましては、一部診療機能を制限する可能性があります。ご不便をおかけすることとなりますが、ご理解の程お願い申し上げます。

今回の事例に対しても十分検証を行い、診療機能を維持してまいりますので、懸命に治療に当たっているスタッフに対して、あたたかい気持ちで応援していただければと思っております。

どうかよろしくようお願い申し上げます。

2020年8月14日
愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

当院の現在の診療体制について

日頃より、当院の円滑な運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

当院は感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者への対応を適切に行うほか、感染対策チームによる指導のもと、病院職員はもとより、外来患者、付添人、面会者など全ての来院者への手指消毒や問診を実施するなど、万全の体制をとっております。

また、県内の感染の発生状況は落ち着いており、県全体の感染者の受入れに係る設備・人的体制も充実してきております。

そして、現在は、通常どおりの患者受入れ体制となっておりますことをご報告いたします。

今後の感染の発生状況によっては、診療体制が縮小する可能性はありますが、最新の情報は、このホームページに掲載いたします。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2020年6月8日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

緊急事態宣言解除後の当院の対応について

5月14日に緊急事態宣言が一部の県で解除され、愛媛県も解除の対象となりましたが、愛媛県立中央病院では、引き続き院内感染防止対策を徹底するため、外来診療、面会、各種手術・処置・検査、業者の立ち入りなどについて、当面の間、これまでの対応を継続させていただきます。

何卒、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2020年5月15日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

県の警戒レベル引き下げへの当院の対応について

当院で4月20日に感染症病棟の看護師1名が新型コロナウイルスに感染した件につきましては、県民の皆様、地域の医療機関の皆様にご心配をお掛けしましたが、念のため、感染症病棟で勤務するスタッフ及び関連スタッフのPCR検査を行った結果、全員陰性であることを確認し、既に通常勤務となっております。

一方、県では新規感染者数減等を踏まえ、5月11日から、警戒レベルを「感染対策期」から「感染警戒期」に引き下げる予定としております。

現在も、人的資源や必要な資材を感染症治療に重点的に振り分け、手厚い医療・看護体制とするため、不急の診療行為など、一部の診療機能は制限しておりますが、県の中核病院として、三次救急、周産期、小児の高度救急医療、がん、心臓疾患などの高度急性期医療を担っていく必要があります。感染の状況を見て、できるだけ早い段階で診療機能を戻していきたいと考えています。

また、今後「感染対策期」に移行した場合など、再び、診療制限の強化がなされる可能性があることもご承知おき下さい。

今後とも皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

2020年5月8日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

この度、当院の感染症病棟で患者さんの治療に従事していた看護師の新型コロナウイルス感染が判明しました。

感染症病棟で勤務するスタッフは、感染防護の訓練を受けており、適切に个人防护具を用い、適切に区分された中で治療に当たっており、関連スタッフの PCR 検査結果からも、患者さんや他部所への感染拡大の可能性は低いと考えております。

この結果を受けて、当院としても、更に診療区画や業務手順の見直し、労務環境の改善などに取り組むことで患者さんや職員を守り、今後も感染症指定医療機関としての役割を果たして行きたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症は対応が非常に難しい疾患で、その治療に係るスタッフの疲弊や、个人防护具の供給が不安定であるなど、様々な問題もあります。そのため、現在の人的資源や必要な資材をより優先して感染症治療に振り分けるため、一般診療や手術、検査、救急診療などの一部診療機能を制限しております。

県民の皆さまには大変な不自由をおかけすることとなりますが、ご理解の程お願い申し上げます。また、懸命に治療に当たっているスタッフに対して、あたたかい気持ちで応援していただければと思っております。

どうかよろしくお願い申し上げます。

2020年4月21日
愛媛県立中央病院 院長
菅 政治